

28 10 15 2 (10:35 11:25

・ 2

I クラス ア 49人( 21人 28人)  
が主にめる -リーダーの をとして-  
がらを , 価し, をめていく をう。  
の をえ, に にびつけていく を伸ばす。  
の をすることで, に を することができる。  
ツェーザー・フライシュレン 信 信 作  
「くちびるに を」 とピアノのための

5

- 一 ドイツ が まれる を みみ その を する。 を し,  
パート の りを う。パート ・ 体 の めを する。 2
- 二 主体の システムの を める。 をより くきみ, の  
と, アプローチの を させる。 2 ( はその2 )
- 三 の を に くきみ, の仕上げを う。 1

Iの に,「ア: を の や の とかかわら  
せて じり イメージをもって うこと。エ: を づくっている を し それらの き  
を して うこと。」とある。 での は,そもそも な であるといえる。しか  
しこれまでは,「主に が ・ 価を い, はそれにつて を う」というのが一  
なスタイルであり, リーダーを し に を たせるにとどまっていた。今 の り  
みでは, テーマである「アクティブ・ラーニング」の に し, の ・ 価などの  
をできるだけ の主体 ・ な に させ, は の を する に  
する, な の みである。 り むにあたって したのは,「 の主体 に丸  
げ」するのではなく,「何を させたいのか」「より な の 」などの を,  
としてしっかりと「 を る」ということである。 の きなテーマである「  
につながる 」という を らかにした, ある り みとしたい。

の の を に し, 交をして と を できる。  
ら した を し, レベルを 上させることができる。

への ・ ・ の と

- ・ の
- ・ の を く
- (5 )
- ・ しながら, に「々にく  
なってきた」「の」とし  
てづいたをきむ。

- ・パートで,
- の
- (7 )
- ・パートにしう。
- ・されたワークシートにリーダ  
ーがポイントにとにつ  
いてをまとめる。
- し, 体。
- のパートの。

- ・ による
- の体
- の
- (3 )
- ・ の を,
- 体する。→ のアドバイス  
とに, にきむ。

- ・パート
- (15 )
- ・パートの に。
- パートリーダーの でされ  
たパートをする。
- ・ の につてくる。
- ・ による体。
- 体ながあればにき  
む。
- にになるは。

まとめ

- ・ し

- ・ の

を て した。今 の り みは の主体 に し それをどこまで き めること  
ができるのか という な みであった。 は に に 上 を って, の い  
に り んだ。このような は, らくどのような に していこうとも される であろ  
うと われる。

としては が主体 に り上げようとする と が に え伝えてい  
くべき とを どのようにバランスを っていくべきであったのか ということにある。どちらか  
に偏りすぎても は を できない。しかしながら 主に の 上 への な の  
や の については, してみ て らかになったことであり と えば のこと  
はあるが が をとらねばならない はやはり かった。そして, 主 で に  
を っ ることに してやや になる としての に づくことになった。 に  
わっていく りこの「バランス 」は の と われるが この を今 も ちなが  
ら 々の を み上げたいと える。